

磯辺4丁目地区（モデル地区）の地下水位の低下作業を開始しました ～地震時における液状化を抑制します～

千葉市では、地震時における液状化の抑制を図るため、美浜区磯辺の一部で液状化対策事業を実施しています。

このたび、磯辺4丁目地区（モデル地区）について液状化対策施設工事が完了したため、9月3日（月）から地下水位低下作業に着手しましたので、お知らせします。

1 経緯

東日本大震災により美浜区磯辺の一部で液状化が生じたため、2015年から地震時における液状化被害の抑制のための液状化対策施設工事を実施していましたが、工事が完了したため、2018年9月3日（月）から非液状化層を厚くするための地下水位低下作業を行うものです。

2 地区の概要（2ページ参照）

（1）地区名

磯辺4丁目地区

（2）面積

約7.1ha

3 今後のスケジュール

（1）地下水位低下作業

地盤から△1.2mの位置にある現状の地下水位を△3.0mまで低下させます。

※地下水位を低下させることにより地中の非液状化層が厚くなり、地震時における液状化を抑制する効果が高まります。

（作業期間）2018年9月3日～2019年5月上旬

（2）地盤が安定するまでの観測

地下水位低下作業後、千葉市液状化対策推進委員会で地盤の安定を確認します。

（観測期間）2019年5月上旬～2020年5月上旬

（3）地盤安定後の対応

地盤安定から30年間、地下水位を地盤から△3メートルの位置に維持します。

4 その他

地下水位の低下作業にあたり、地盤に大きな変動などが発生していないか観測を行い、慎重に地下水位の低下を実施します。

位置図

